



2020年10月9日

各 位

会社名 株式会社ビックカメラ
代表者名 代表取締役社長 木村 一義
(コード番号：3048 東証一部)
問合せ先 取締役経理財務本部長 安部 徹
TEL 03-3987-8785

剰余金の配当および個別業績の前期実績値との差異 に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2020年8月31日を基準日とする剰余金の配当を行うことの承認を求める議案を、2020年11月19日開催予定の第40期定時株主総会に付議することを下記のとおり決議いたしましたので、お知らせいたします。

また、2020年8月期(2019年9月1日～2020年8月31日)の個別業績について、前期実績との間に差異が生じたので、併せて、お知らせいたします。

記

1. 剰余金の配当

(1) 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2020年4月9日公表)	前期実績 (2019年8月期)
基準日	2020年8月31日	同左	2019年8月31日
1株当たり配当金	3円00銭	未定	10円00銭
配当金の総額	527百万円	—	1,759百万円
効力発生日	2020年11月20日	—	2019年11月18日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

(2) 理由

当社は、業績に応じた適正な利益配当の実施を利益配分の基本方針としております。

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う先行き不透明な環境から、本年4月9日に期末の配当予想を未定としておりましたが、利益配分の基本方針を鑑み、今般の配当を決定しております。

なお、現在進行中の2021年8月期の配当金の見通しにつきましては、1株当たり年間15円(中間配当5円、期末配当10円)を予想しております。

(ご参考) 年間配当の内訳

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	合計
2020年8月期	10円00銭	3円00銭	13円00銭
前期(2019年8月期)	10円00銭	10円00銭	20円00銭

2. 個別業績の差異

(1) 2020年8月期通期 個別業績と前期実績との差異 (2019年9月1日～2020年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績(A)	百万円 516,078	百万円 9,941	百万円 12,185	百万円 7,300	円 銭 41.10
当期実績(B)	460,501	△2,987	627	△424	△2.41
増減額(B-A)	△55,576	△12,929	△11,558	△7,725	
増減率(%)	△10.8	—	△94.9	—	

(2) 差異の理由

新型コロナウイルス感染症の拡大によりインバウンド需要が激減いたしました。また、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、東京を中心とする全国の店舗で休業や営業時間の短縮を実施したほか、当社の店舗が立地する都市部において、外出自粛を背景とした昼間人口の減少が生じたことから、実店舗の販売が低迷いたしました。

一方、インターネット通販の販売が大きく伸びたものの実店舗の販売低迷を補うには至らず、売上高は前期に比べて減少いたしました。

利益面につきましては、実店舗に比べて粗利益率が相対的に低いインターネット通販の販売が大きく伸びたことや、在庫の正常化のために実施した処分販売により粗利益率が前期に比べて低下いたしました。

経費のコントロールに努め販管費額が前期実績を下回ったものの、売上高減少および粗利益率低下の影響は大きく、各利益はいずれも前期に比べて減少いたしました。

以 上